

# 宮島周辺 (長嶺山 大廣寺 ちょうれいざん だいこうじ 周辺)

大廣寺：開基文禄元年1592年

山寺五山の一つである天台宗丈嶺山仏生寺の末寺として板倉区福王寺地内の山寺街道沿いあったお寺を曹洞宗に改宗し現在地に移設したと伝わり仏生寺ご本尊の釈迦如来をそのままご本尊としている。山号の長嶺山(ちょうれいざん)はやはり山寺五山の一つである長嶺山 華園寺の山号を継承しこのご本尊の薬師如来を脇侍(きょうじ)とし地蔵堂に祀られている。焼山城主宮嶋若狭守吉房館に隣接していることから、菩提寺として建立したと推察されています。

**木造 金剛力士立像**

上越市指定文化財  
仁王尊像は運慶系の京仏師の作と言われ、戦国時代末期か江戸時代初期に造られた高さ1.8mの檜の寄木造の木彫像で、ガラスの眼珠が特徴的である。



**石造薬師如来坐像**

板倉区で一番大きい石仏。  
門前で病氣、家内安全を見守っています。



**五十余体観音像**

大廣寺境内に五十余体の観音菩薩が安置されていますが、福王寺地内の照玄庵境内に33観音2系列と推察される石仏のうち程度の良い観音菩薩50余体をこの大廣寺境内に移設安置したものです。




**甲源一刀流丸山正義碑**

甲源一刀流の祖は武蔵(埼玉県)熊谷で有名な剣士がおりその門下であったと推察される。  
丸山正義は、甲源一刀流流儀の技を生かし板倉はじめ近隣の若者に剣術指南を行った。



**六地藏尊**

六道輪廻の考えの基本である・地獄道・餓鬼道・畜生道・修羅道・人間道・天道の衆生の苦しみを救うのが六体の地藏菩薩です。



**追分地蔵**

右 高田へ  
旅人の道案内と道中の無地息災を念じる守佛として親しまれ今日に至る。




**庚申塔**

人間の体内にいるという不老長寿を阻む「三尸虫」という虫がいて層の60目にあたる庚申の日に天に昇り帝釈天様に悪事を告発し寿命を縮めようとする、それを防止するため夜は眠らないで祈り3年18回庚申講を続けた記念に石塔を建立。



**木造薬師如来坐像**

伝 運慶作(非公開)  
六さん除けにご利益があると評判の秘仏のお地藏様。



**救農の巨石**

江戸時代の大飢饉の時、庄屋の丸山八右衛門は農民が飢饉に苦しんだ時この巨石を連野から冬運ぶことで報酬としてお米を分け与え農民を救ったと伝えられています。



# 根越お宝マップ NEGOSHI TREASURE MAP

根越(ねごし)の名は明治22年~明治34年に所在した根越村に由来し宮島地区では今でも地域愛を表す言葉として呼ばれています。  
新潟県内で別所川扇状地が形態的にきれいな扇形と紹介されている山裾の風光明媚な地域です。  
718年ころから1201年の400年以上栄えた山寺三千坊文化が垣間見える信仰心の厚い地域で戦国時代には川中島への軍用道としての関田街道が通っており根越三城将供養堂には3カ所の山城の城主が祀られており戦国ロマンが感じられます。

## 福王寺周辺

信仰と戦国ロマンあふれる福王寺によこそ

この集落の裏山一帯に多数の神社仏閣の地名があり山寺三千坊時代から信仰の郷として栄えていたと推察されています。  
川中島合戦の時の上杉謙信公の名馬は御殿平城主福王寺彦八郎孝重が献上「東の郷福王寺村より引き出せる名駒を収めて団白号と名付け謙信深く愛乗せりとぞ」と記録があり、この地には隠馬(かくしま)という地名があり牧場が存在した地と考えられています。

## 世界かんがい施設遺産 上江用水路

**上江用水路**

世界かんがい施設遺産  
およそ400年前の戦国時代から始まった工事は130年の歳月をかけ全長26kmの用水路が先人達の努力で完成しました。




**上江用水路**

世界かんがい施設遺産  
標高約70mの山あいを1/300傾斜となつて流れています。標高差が大きい為、急流となり集落内を流れています。



**馬頭観音**


用水路に馬頭観音像があります。「馬頭観音」とは、六観音の一つで、頭の上に馬の頭をいたっていることから、馬の守護神として昔から広く信仰されています。



## 円通庵跡

**六地藏尊**

開基 寛文2年(1662年)  
福王寺 昭和34年(1959年)  
円通庵跡地に福王寺公民館が建立されています。




**青面金剛像**

青面金剛については、その恐ろしい姿から、邪氣や悪病を払うご利益が期待されました。とくに伝戸痛(結核)の予防治療を祈ったといわれています。



**二十三夜塔**

二十三夜塔とは、庚申講と同じく民間信仰のひとつとして、月を信仰の対象としてお経などを唱えて月を拝み、悪霊を追い払うという月待行事を行い、その記念や供養のあかしとして建てられたものです。



## 十二社神社境内

**青面金剛像**

上越市指定文化財  
福王寺十二社境内正面向かって右端の祠の中に青面金剛像が鎮座されています。寛文2年(1662年)仙正寺と刻銘あり年号が判る正面金剛像としては新潟県で一番古いとされています。



**平塚神社分霊碑**

上越市指定文化財  
福王寺十二社境内に元禄6年(1693年)平塚氏により建立)  
東京飛鳥山の一角にある由緒ある平塚神社の分霊碑で源義家・義綱・義光の武神を祀っています。



**馬頭観音像**

福王寺十二社裏 100mにある馬頭観音像。  
馬頭観音としては優しい、ほのぼのとした表情です。




宮島連絡協議会



# 根越お宝マップ

## NEGOSHI TREASURE MAP



**1 沢田夜泣き地蔵**  
 地区の深い信仰をあつめ、堂宇に祀られている。夜泣き地蔵尊は、機織・南中島・沢田にあり伝 板倉三大夜泣き地蔵尊として崇められています。  
**沢田**

**4 別所川頭首工**  
 世界かんがい施設遺産 上江用水田原橋上流 約100m 上江用水路が別所川を横断しています。田原橋とともに、水難地蔵尊・馬頭観音尊が祀られています。  
**田屋**

**7 曾根田子育て地蔵**  
 怪我・病氣予防にご利益があると信じられています。毎年8月27日祭礼が営まれています。  
**曾根田**

**10 照玄庵跡**  
 堂宇は妙高市上小沢の円光寺に移築 曹洞宗の高僧石月無外和尚が晩年を過ごした寺院として有名です。加州 大業寺(石川県加賀市)の末寺として建立されています。  
**福王寺**

**13 別所 あめ地蔵**  
 子授け地蔵とも乳地蔵ともいわれている通称「別所の胎地蔵」は鎌倉時代に創建されたと言われている。本尊1体と子地蔵64体が祀られており、何時ごろからか、水あめの他に鉛玉をお供えするようになった。  
**別所**

**16 軍用道跡 庚申塔**  
 山寺街道を兼ねた焼山城軍用道跡と圓防の木街道の要所に祀られている。  
**曾根田**

**2 大日如来坐像**  
 上越市指定文化財 昭和49年指定 鎌倉時代の傑作と言われ、この如来像に合わせて針買壽院の末寺として大日堂が建立されています。  
**田屋**

**5 龍泉寺跡六地蔵**  
 徳宗のお寺に祀られている衆生の苦しみを救うのが六体の地蔵尊です。堂宇は昭和17年に素晴らしい竜の彫刻と共に、山部の西蓮寺に移築。  
**中四ツ屋**

**8 不動尊祠**  
 古くから特に眼病にご利益があると信じられている不動尊で毎年集落民により不動さんまつり祭事が行われています。交通の要所で昭和10年ごろまで「ところん」が売られていました。  
**国川**

**11 祠内青面金剛像**  
 上越市指定文化財 寛文二年六月正寺と彫られており、記録のある正面金剛像としては新潟県では一番古く 市指定文化財  
**福王寺**

**14 焼山城主宮嶋若狭守吉房館跡**  
 初代城主 宮嶋若狭守吉房 二代城主 宮嶋与八郎吉則 番指寺として館の隣接地に大廣寺を建立したのではと思慮されます。  
**宮島**

**17 焼山城址**  
 1599年ころ築城され会津移封の1598年ころまで約40年間に渡り関田峠越えの監視の役割を果たしていたと推察されています。  
**曾根田**

**3 鴨井邸・五葉松**  
 国登録有形文化財 平成29年登録 鴨井家住宅・鴨井家土蔵 市指定文化財 昭和53年指定 宮嶋五葉松(樹齢300年以上)  
**田屋**

**6 大廣寺 木造 金剛力士立像**  
 上越市指定文化財 仁王尊像は運慶系の京仏師の作と言われ、戦国時代末期が江戸時代初期に造られた高さ1.8mの檜の寄木造の木彫像で、ガラスの眼球が特徴的である。  
**宮島**

**9 国川どうまん井戸**  
 弘法大師が鶴杖をついたら、こんこんと水が湧き出たと伝わる。  
**国川**

**12 自省軒跡六地蔵**  
 別所集落には江戸時代から昭和時代には、勝楽寺・阿弥陀堂・薬師堂・自省軒と四ヶ所の寺院が存在。自省軒と薬師堂の2ヶ寺分が合祀されています。  
**別所**

**15 謙信公根越三城将供養堂**  
 板倉区には箕冠城の他に根越地区の三ヶ所に山城がありました。 曾根田 焼山城主 宮嶋若狭守吉房 福王寺 御殿平城主 福王寺彦八郎孝重 別所 小根山城主 高梨源五郎  
**曾根田**

**焼山城**  
 永禄7年(1564年)上杉謙信の命により景勝が養子になった際、補佐役として上田権沢城執事であった宮嶋三河守吉房一族が一万石の武將として春日山城に着任、長男の宮嶋若狭守吉房は始祖の地宮島に館を構え曾根田焼山に山城を構えた。  
**焼山城址**